

### 第3A(中)分科会 教育環境整備に関する課題

提案主題 防災・減災に向けた学校と保護者・地域をつなぐ教頭の役割

協議の柱 防災・減災に向け、学校と保護者・地域をつなぐために、教頭としての役割はいか  
にあればよいか。

提言者 佐伯市立米水津中学校 深 町 勝 幸

#### 1 質 疑

- (1) Q 東北被災地研修の予算はどこからのものか。  
A 佐伯市教育委員会の予算が基本であるが、不足分は学校が補充している。
- (2) Q 生徒の防災リーダーとしての顕著な取り組みはあるか。  
A 佐伯市に対して5つの提言をしている。また、身近なことでは学校での履物を「スリッパ」から「上靴(踵のあるもの)」に変えるなどしている。
- (3) Q 避難場所はどのようなところか。また、備蓄品などは整えられているか。  
A 整備をされた場所ではないが、広場がある。地域の備蓄倉庫はあるが、生徒は非常用としてリュックを準備しており、学年ごとに必要なものをスーツケースに入れたものもある。

#### 2 協 議

- (1) 保護者や地域との連携について
  - ① 学校としての組織的な取り組みができており感心した。学校が地域の中心的な立場となっているようだが、どこまでやるべきなのかは難しいところがあると思う。
  - ② 保護者への連絡にメールを使用しているが、災害時に有効であるのか、また、加入率の問題などもあるので、教頭としては配慮が必要である。
  - ③ 学校から積極的に防災教育の取り組みを発信していく必要がある。
- (2) 防災教育の取り組みについて
  - ① 地域によって防災意識に差があり、マニュアルや引き渡しカードの整備等にも差がある。
  - ② 防災・減災について、もっと学校で考える場を持つ必要があると感じた。
  - ③ 安全な状況の時にどのような準備をしておくかが重要である。佐伯以外の地域では取り組みに遅れているように思う。
- (3) その他
  - ① 避難場所は指定しているが、設備(備蓄品など)が整っていない地域が多い。
  - ② 通学バスでの被災についても検討していく必要がある。

#### 3 指導助言

この発表では、「自校で取り組める内容はないか。」という視点で聞かせていただいた。大変取り組みのレベルが高く、保護者と地域との連携がしっかり図れている。そのための信頼づくりが、教頭としての大きな役割であるし、それが十分にできていることが伺えた。

地域との連携では、実践委員の中に校区内6区長に参加していただいたことは非常に意義深いと考えられる。また、関係者に対して丁寧に説明していることが、好結果を生んでいるにつながっていると思う。

本校でも、事前に対策を考えておくことが必要であると考え、避難場所の整備が進んでいないため、区長(地域の方)さんと相談している。また、コミュニティ・スクール(CS)の指定を受けており、この組織を機能させることで、地域と学校の安全をつなげていくことを目指している。

教育環境整備を進めていく上で大切なことは「信頼関係づくり」である。校長として求める教頭は、事務処理のできる人材ではなく、お二人のように「信頼関係づくり」をいつの間にか築いている人材ではないかと実感することができた。